

## がくしゅうかだい（2ねんせい）

【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「たんぽぽのちえ」（きょうかしよ 42～47 ページ）にとりくみます。

- ① きょうかしよ 42～47 ページを声に出して読みます。
- ② 「たんぽぽのちえ」をべんきょうしてみて、「たんぽぽってすごいな。」  
「たんぽぽってかしこいな。」と思ったところを、まとめます。  
まとめるときに、つぎの2つのことをかんがえながら書きましょう。

- 1) たんぽぽがしていること（ちえ）をわけといっしょに書きぬきます。  
※「かきぬく」というのは、書かれている文のことばをかえずに、そのまま書くことです。
- 2) じぶんが思ったことも書きます。  
「～が、ふしぎだと思いました。」「～が、おもしろいと思いました。」「～のことを、もっと知りたくなりました。」などのことばを入れて書いてみましょう。

※きょうかしよ 49 ページ下を見ながら、書いてみましょう。

◆「じゅんじょ」（きょうかしよ 51 ページ）にとりくみます。

- ① 書くときも話すときも、じゅんじょをかんがえることがだいじです。じゅんじょには、どんなしゅるいがあるのか、きょうかしよ 51 ページを読んで、たしかめましょう。
- ② あさおきてから、学校に行くまでにすることを、じゅんじょに気をつけて、話しましょう。

※あさおきてから、どんなことをするか思い出してみましょう。

（れい）わたしは、あさ6じ30ぷんにおきます。まず、かおをあらいます。  
つぎにふくにきがえます。そのあと、あさごはんを食べます。

◆あたらしいかん字「今(59 ページ)」～「内(59 ページ)」に、とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「書きぬく」とは、教科書の文章の言葉を変えずに、一言一句抜き出すことです。基本的には一文（文頭から文末）で抜き出すことを指します。
- ・「じゅんじょ」（教科書 P51）では、話すときや書くときに順序を意識すると伝わりやすくなることを学習します。どの順序で話したり書いたりしたらいいのかわからないときは、「朝起きてからのことを話してみたら」と声をかけてみてください。お子さんが「朝起きて、パジャマを着替えて…」のように話したら、「起きてからのことを時間の順序で話そうとしているね。」とほめてあげてください。



【さんすう】

「※」は勉強<sup>べんきょう</sup>するときの先生からのアドバイスです。

<べんきょうすること>

◆ひき算（くり下がりにあり）（きょうかしょ 43～46 ページ）

ちあきさんは おり紙を34まい もっていました。  
このうち 18まい つかいました。のこりは 何まいでしょうか。

34まいもっていて、このうち18まいつかうと、

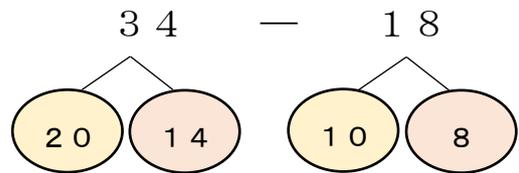
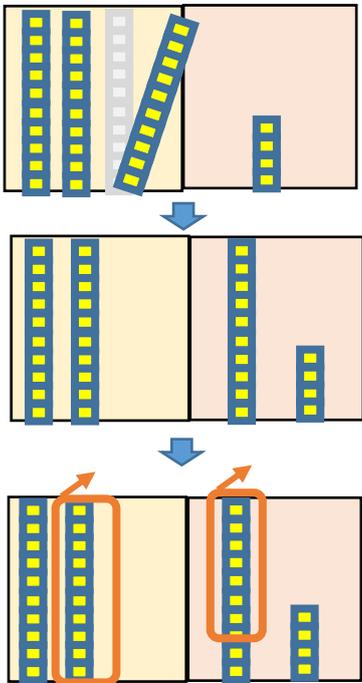
式

$$\begin{array}{r} 34 \\ -18 \\ \hline \end{array}$$

あれ？  
一の位で 4から8は ひけないよ？

はてな？  
一の位の計算で ひけないときは、  
どうすれば いいのかな？

下の 2つの計算のしかたについて わかりやすいほうの  
考え<sup>かんが</sup>について 声<sup>こえ</sup>にだして せつ明 しましょう。



$$\begin{array}{l} 14 - 8 = 6 \\ 20 - 10 = 10 \\ 6 + 10 = \boxed{\phantom{00}} \end{array}$$

34 - 18の 筆算<sup>かんが</sup>のしかたを 考えよう。

$$\begin{array}{r} 34 \\ -18 \\ \hline \end{array}$$

① 位を たてに  
そろえて書く

くり下がり1

$$\begin{array}{r} 2 \quad 14 \\ \cancel{3} \quad 4 \\ -1 \quad 8 \\ \hline \quad \quad \square \end{array}$$

② 一の位の 計算をする。  
4から8はいけないので、  
十の位から1くり下げる

$$14 - 8 = \square$$

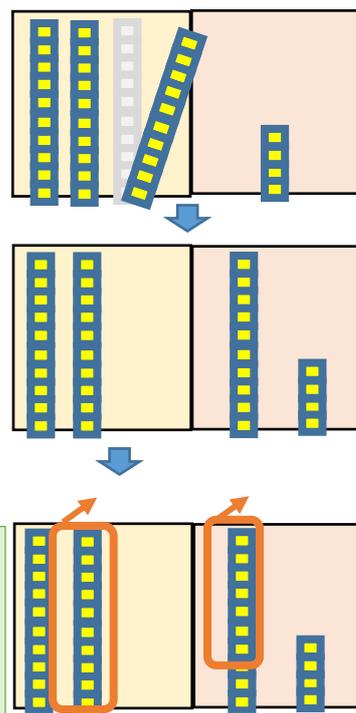
$$\begin{array}{r} 2 \\ \cancel{3} \quad 4 \\ -1 \quad 8 \\ \hline \square \quad \square \end{array}$$

③ 十の位の  
計算をする。

$$2 - 1 = \square$$

※くり下げたこと  
がわかるように  
書いておこう。

$$\begin{array}{r} 2 \\ \cancel{3} \end{array}$$



<れんしゅうもんだい①> 筆算で しましょう。

- (1) 72 - 39                      (2) 60 - 32                      (3) 71 - 3

(1)		7	2	(2)		6	0	(3)				
	-	3	9		-							

- (4) 45 - 16                      (5) 50 - 28                      (6) 90 - 4

<この <sup>べんきょう</sup>勉強で、わかったことや、きづいたこと、  
おもしろかったところを、おうちのひとに <sup>はな</sup>お話ししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆ひき算（教科書 P43～46）

・34-18 の計算では、繰り下げたことを忘れて 26 とするまちがいが多いです。また、数値を見て直観的に大きい数から小さい数をひき 24 としてしまうまちがいもよくみられます。原因を見取ったうえで、補助数字などで計算過程をメモさせたり、ブロックで計算手順の意味を理解させたり、数字を丁寧に書かせたりするなど、支えていただけたら幸いです。

## 【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。道具をつかうときは、かたい物やわれる物はつかわず、安全におこないましょう。

### <べんきょうすること>

※動画を見られる場合は、右のQRコードを使ってください。  
[http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home\\_karada\\_.html](http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/home_karada_.html)



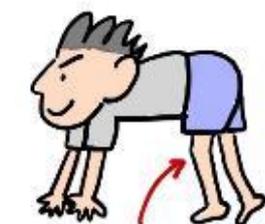
◆「動物歩き」に  
取り組みましょう。

(1) ①くまあるき、  
②アザラシあるき、  
③うさぎとび、  
④クモあるきに  
チャレンジしてみ  
ましょう。

(2) あるく速さや  
回数、しせいなどを  
変えてチャレンジし  
てみましょう。

(3) ほかの姿勢も  
考えて、チャレンジ  
してみましょう。

### ① くまあるき ② アザラシあるき



ひざをゆがにつけないで  
あるこう!

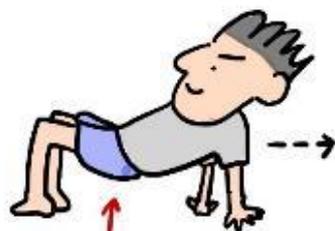


足はちからを  
↓ぬいて  
手だけで  
すもう!

### ③ うさぎとび ④ クモあるき



手をまえにつこう!



おしりをあげよう

### <保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思ひます。